

## 愛西市地域福祉計画の評価、意見

(対象年度：令和5年度)

項 目	評価、意見内容
<p>目標1 身近な地域で支え合 うまちづくり</p>	<p>昨年度の評価時、冷蔵庫の扉にセンサーを取り付け、扉の開閉時間で安否を確認するという見守りシステムの導入があり、大変良いアイデアであると思ったため、今後もこういったものを考えていけると良いと思う。</p> <p>また、役所のみでなく地元の方々の力が大変重要であることから、防災リーダー等の養成や災害の際に実動となって活動していただける方の存在が重要なため、このあたりの計画等の充実に期待したい。</p>
<p>目標2 誰もが活躍できる仕 組みづくり</p>	<p>ファミリーサポートセンターの提供会員にとっては社会参加や社会貢献にもなり、依頼会員のお困りの際のニーズを満たすことができると思うので、この事業の充実に期待している。</p> <p>ボランティア参加者の高齢化解消のため、若年層へのボランティア参加の働きかけが大切である。そのためにも、福祉交流を実施しない学校も見受けられるので、できるだけ全ての学校に体験してもらうことが大切であり、大きな問題だと思う。</p>
<p>目標3 支援を必要としている 人とサービスを適切 につなぐ仕組みづくり</p>	<p>自殺対策計画の市民向けの周知方法に関心がある。自殺対策計画に焦点を当てた事業には取り組めていないとのことだが、アプリの紹介や、中学校へ相談窓口の周知の呼びかけなどの周知方法はすごく良いと思う。</p>
<p>目標4 安全で安心して暮ら せる環境づくり</p>	<p>外出支援サービスや買い物支援バス、福祉有償運送等についての利用者がまだ少ない点から、必要な人に必要なサービスが届くような周知や工夫などをしていただくと良いと思った。</p>
<p>総評</p>	<p>現状は福祉サービスを受けたいが、福祉に関して自分が何か動くという市民の数は徐々に減少していると感じるため、そこに目を向けていかないといけないと思う。</p> <p>地域福祉計画策定時に実施した調査のうち約3割の方、内訳としては大きく分けて学生・専業主婦・定年退職し</p>

	<p>た方がボランティアや地域活動に機会があれば参加したいと回答しており、是非こうした方が参加の機会を得られるような取り組みが必要かと思う。例えば定年退職後に国民健康保険加入のために来庁した際や成人式のタイミングで、ちょっと聞いてみようかな、と参加できるような地域活動の概要がわかる説明会など、実際にボランティアに参加してもらえる流れを作っていくのも一案としてあるかと考えた。様々な施策に加え、既存の制度では手が届かないようなサービスの提供にも繋がっていくのではないかと思うので、よければ検討をお願いしたい。</p> <p>市の取り組みとしての啓発や地域活動推進のための今後の仕掛けの仕方も変化させていく必要があり、SNSの活用・啓発の手段など、様々な工夫を凝らされているとお伺いしたので、そういうことも更に進むよう期待する。</p> <p>令和4年から8年まで本計画は半分を経過したので、更に頑張っていたいただきたいと思います。</p>
--	---

令和 年 月 日

委員長

副委員長

委員

委員

委員